

伊豆大島の火山活動*

Volcanic Activity of Izu Oshima Volcano

防災科学技術研究所**

National Research Institute for Earth Science and Disaster Resilience

2016年7月1日から2017年5月31日の期間における伊豆大島の火山活動の観測結果について報告する。

第1図は当該期間中の伊豆大島の震源分布である。2016年7月から2017年1月にかけては、火口付近の地震活動は継続的に発生していた。火口付近を除く島内の地震活動は同期間中低調であった。しかし、2017年2月以降、火口付近及び島内(A～D領域)での地震活動が高まった。

第2図は、ボアホール式傾斜計のデータ(正時値)である。島の収縮から膨張の変わり目となる傾斜変動が2016年11～12月にかけて観測されている。

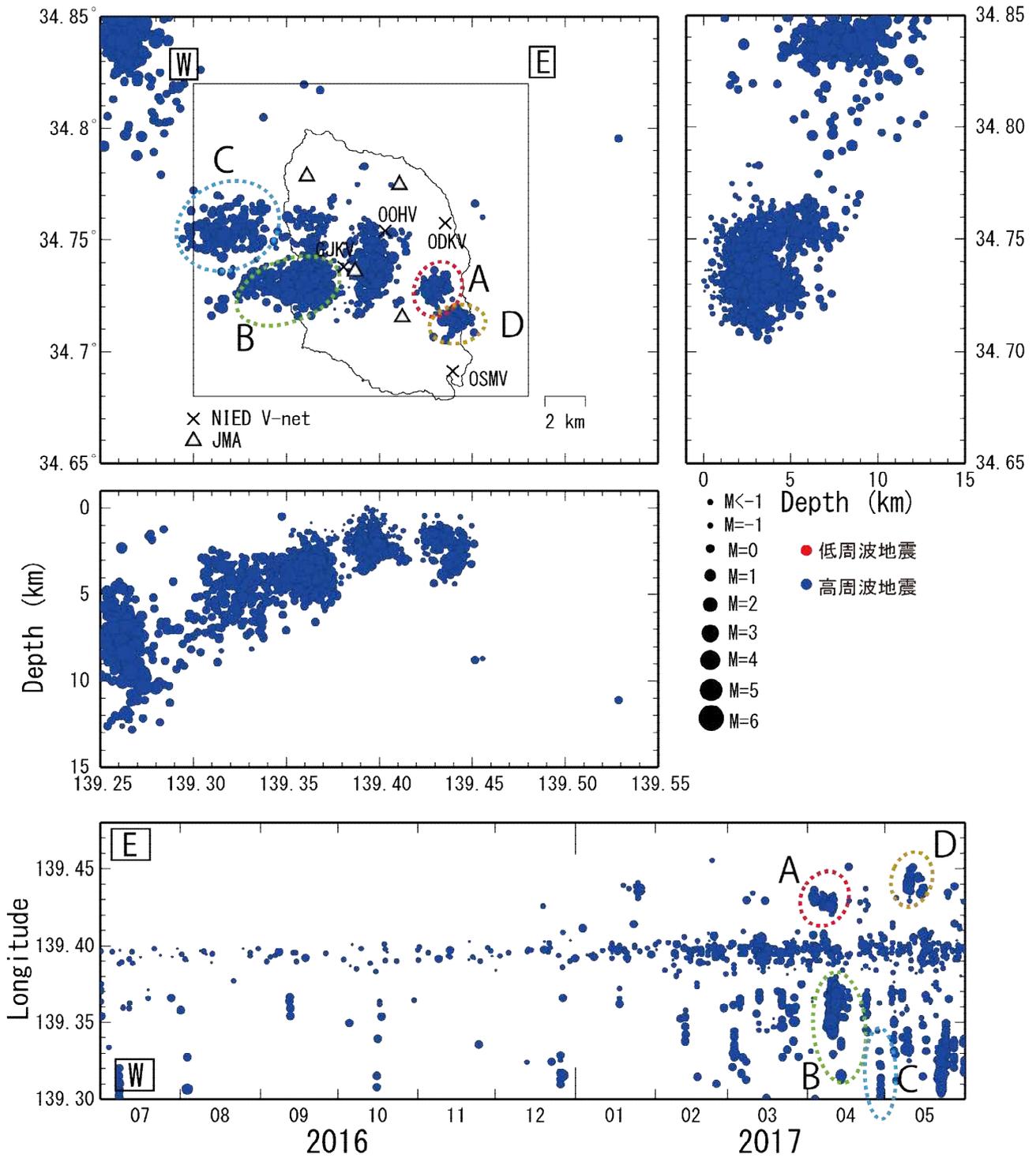
地震活動の変化は、傾斜計のデータ変化の変わり目から数ヶ月後に高まっており、島膨張の時期に地震活動が高くなるという指摘(東大地震研資料,2017)とほぼ一致している。

その他には火山活動に起因すると考えられる異常な変動は見られない。

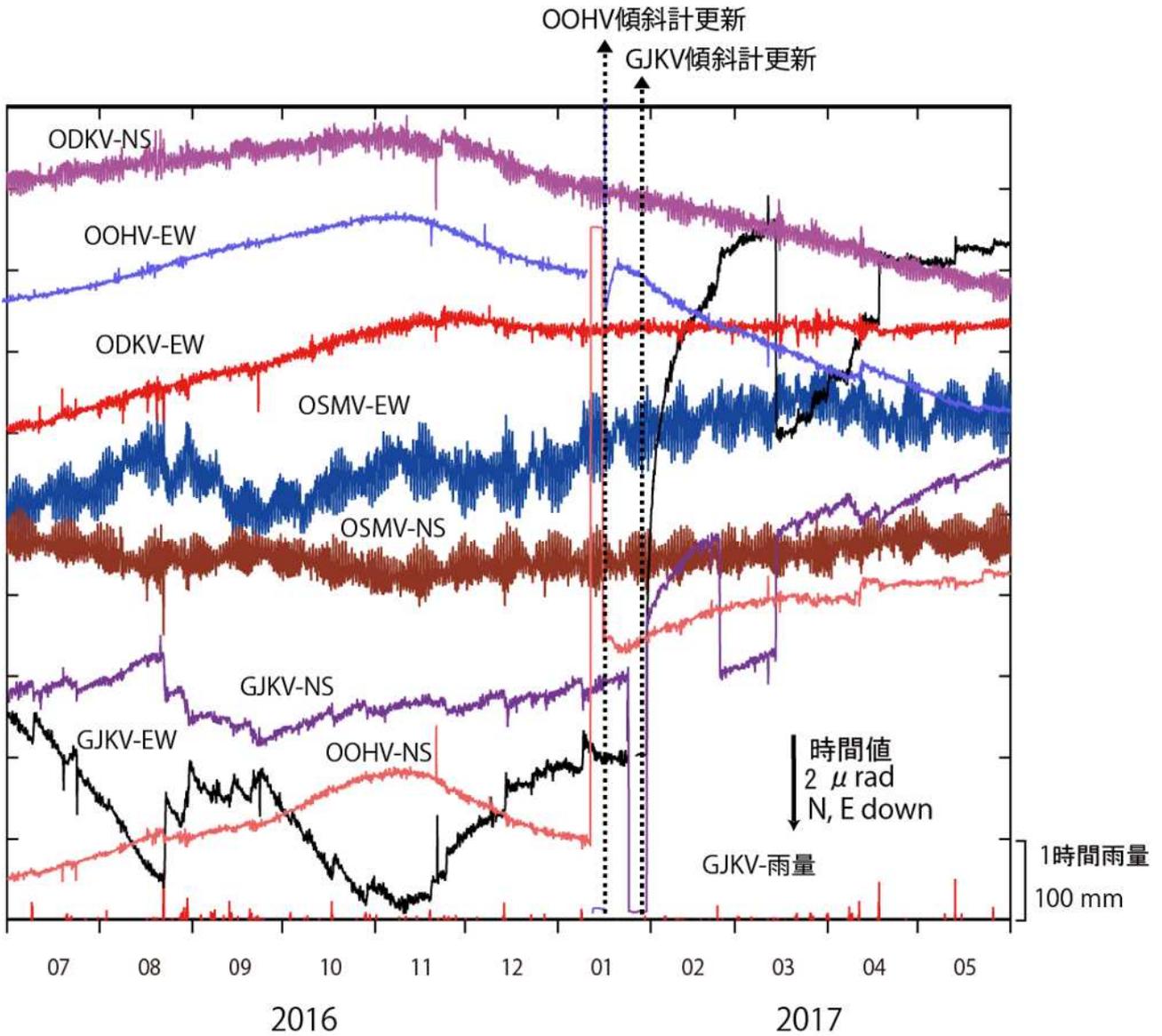
東大地震研資料(2017) 伊豆大島,第138回火山噴火予知連絡会資料,pp29-pp41.

* 2017年8月4日 受付

** 棚田俊收,上田英樹,藤田英輔,長井雅史
Toshikazu Tanada, Hideki Ueda, Eisuke Fujita, Masashi Nagai



第1図 伊豆大島の震源分布および時空間分布図。表示期間は2016年7月1日～2017年5月31日。
 Fig. 1 Hypocenter distribution around Izu-Oshima for the period from July 1, 2016 to May 31, 2017.



第 2 図 防災科学技術研究所・伊豆大島火山活動観測網による傾斜変動観測結果。表示期間は 2016 年 7 月 1 日～2017 年 5 月 31 日で、表示データは時値（毎正時の値）。

Fig. 2 Tilt changes observed by the NIED Izu-Oshima volcano observation network for the period from July 1, 2016 to May 31, 2017. Hourly data are plotted.